

平成 20 年（2008 年） 2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（1 日目）

平成 20 年 2 月 25 日（月）

割当時間(答弁を除く) $\left\{ \begin{array}{ll} \text{自民・無所属連合} & 95 \text{ 分} \\ \text{公 明 党} & 45 \text{ 分} \end{array} \right.$

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	久 高 将 光 (自民・無所属 連合)	1 平和行政について 2 市長の公約 達成度について 3 平成 20 年度 施政方針について	またしても米軍人による痛ましい事件が発生した。未成年者である女子中学生を拉致して乱暴するという誠に許しがたい事件である 米軍基地問題を沖縄問題としてのみ処理し、沖縄県民の安全を守れぬ日本政府に対して強く抗議していくべきであり、また、地位協定も運用で解決する手法でなく、抜本的な改正を強く求めていくべきと思うが、市長の見解を伺う 8 年前の平成12年当時、那覇市は長期にわたる市政の停滞、低迷、惰性が漂い、閉塞的な状況を呈していた。このような中、翁長雄志市長は市民の夢や希望を実現し、風格ある県都那覇をつくるために那覇市長に立候補され、見事当選された 那覇市長に就任してからも常に「市役所は最大のサービス産業」として位置づけ、市民の目線で絶えず市民生活を検証し、真に市民にとって必要なもの「市民生活の向上」ということを目標に市政運営を取り組んでこられた そこで、1 期、2 期を通して市長公約の達成度を聞かせていただきたい (1) 協働のまちづくり支援事業について 市長は市政運営のあり方を従来の行政主導型から「協働は市民が主体で、市民も行政もお互いを認め合い、補い合い、支えあい」の考え方のもと市民との協働によるまちづくりを掲げている

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			平成19年度には那覇市自治会長会連合会との「廃食用油回収事業によるバイオ燃料化事業」、沖縄県健康管理士会との「基本健康診査受診数改善活動」、繁多川自治会との「地域文化財指定事業」及びNPOしまづくりネットとの「カーフリーデー」の協働事業の実施など、着実にその成果を出していることに、我が会派は大きく評価をしているところである 「協働元年」の今年度に引き続き、次年度以降においても、さらに協働のまちづくり事業の推進が望まれるが、平成20年度の推進事業では、何を重点的に行っていくのか伺う (2) ISO9001の全庁拡大について 市長は市政運営のあり方として「市役所は最大のサービス産業である」との考えに立ち、市民の皆様に満足していただけるサービスを提供するため、市民課をはじめ、三支所などでISO9001を認証取得し、新年度には全庁拡大に取り組むと述べている ISO9001は、平成14年に市民課に導入しているが、市民アンケートによると市民満足度が導入前の74%から91%へ向上しており、市民からも職員の対応が親切である、感じの良い対応である、迷っていたら声をかけてもらった、以前に比べて対応が明るくなったなどの声が出ている。これはISO9001導入によって事務の見直しが行われ、ISO9001の手法による改善の仕組みが効果をあげているからだと考える そこで、次の点を質問する ① これまでの取組状況と効果について ② ISOを全庁に拡大する意義は何か ③ 全庁拡大に向けた課題はあるのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 路上喫煙防止事業について 平成18年12月定例会で可決された「那覇市路上喫煙防止条例」が施行されたが、当局の取組状況を伺う (4) 市立病院の地方独立行政法人化について 来る4月1日から、いよいよ我が那覇市立病院が地方独立行政法人那覇市立病院として生まれ変わる 那覇市立病院は27年前の昭和55年に、那覇市民の健康を守り、地域医療を担う役割で開設された。昭和55年の開設から平成6年までの間、赤字続きの運営を余儀なくされてきた。この間、累積赤字60億円余、不良債務にいたっては14億円以上という莫大な額になっていた しかしながら、院長をはじめ、市立病院の全スタッフの皆さんの、意識改革とたゆまぬ努力でもって赤字基調から黒字基調へと劇的な変化を遂げるに至っており、改めて敬意を表したいと思う。本当にご苦労様でございました しかし昨今、国の財政悪化に伴う医療制度の抜本改革、最大級の診療報酬切り下げ、10人から7人という新看護配置基準の導入及び、病床数の削減等で環境が大きく変わり全国の自治体病院の大半の経営が悪化していると聞いている そこで、病院経営を取りまく環境と市立病院の独法化について伺う ① 平成20年度診療報酬改定の概要と市立病院の経営に及ぼす影響を伺う ② 総務省が決定した公立病院改革ガイドラインの概要と市立病院の独法化に及ぼす影響を伺う ③ 全国の独法化の動きは、どうなっているか また、その中において市立病院の独法化の影響や評価は、どうなっているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			④ 市立病院は、なぜ独法化しなければいけなかったのか。そして市立病院は、どこを目指しているのか ⑤ 病院事業管理者として、地方独立行政法人経営は、どうあるべきかお聞かせいただきたい (5) 移動図書館（青空号）の廃止について これまで市内全域で活躍してきた青空号（移動図書館）が次年度より車両の老朽化で廃止されようとしている。那覇市には中央図書館をはじめ、首里、石嶺、繁多川、久茂地、若狭、小禄南と7館が配置されている この配置は必ずしも地域の人口に応じた配置ではないが、ありがたいことに首里は市人口の18%で図書館は2館で28%も配置されていることになる 分館という形で図書館が配置されていることが本市における図書館行政の特徴だと思うのだが、次のことについて伺う ① 市立図書館の整備充実について (ア) 図書館サービスについて ソフト、ハード両面で、ここ数年どのような充実を図ってきたか伺う (イ) 県内他市及び類似都市と比較して、本市の図書館整備はどのような状況にあるか (ウ) 現在、進めている牧志・安里地区の市街地再開発事業に伴う図書館整備の進捗状況は、どのようなになっているか伺う ② 移動図書館の廃止について (ア) 移動図書館は、これまでどのような目的で運用されてきたのか (イ) 移動図書館の利用の実態はどうなっているか。利用者数と貸出冊数の推移を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(ウ) 移動図書館を廃止することにより、これまで充実を図ってきた図書館サービスの一部低下が危惧されるが、その対応策について伺う ③ 視聴覚ライブラリーの廃止について (ア) 県内の視聴覚ライブラリーの設置状況は、どうなっているか (イ) 那覇市民が利用できる視聴覚ライブラリーは、他にどこにあるのか (ウ) 視聴覚ライブラリーを廃止した場合、視聴覚機器及び教材の貸し出しはどうか伺う
		4 文化財行政について	伊江御殿旧別邸庭園の文化財指定について 昨年5月14日、元参議院議員で、本県出身者として初めて北海道・沖縄開発庁長官として国務大臣を務められた伊江朝雄氏が亡くなられた 伊江氏は、開発庁長官として本県の発展に尽され、わが那覇市も大変お世話になっただけに、心から哀悼の意を申し上げるところである さて、伊江氏は、王府時代から連綿と続く「伊江御殿（いえうどうん）」のご当主であり、代々受け継いで来られた「伊江御殿墓（いえうどうんばか）」や「伊江家文書（いえけもんじょ）」など、貴重な歴史・文化の継承にも努められ、墓は国の重要文化財に、古文書は県の有形文化財に指定されている 伊江氏は、石嶺にある旧別邸をお住まいとされておられたが、そこには見事な琉球庭園がある 生前、激しい戦禍をかいくぐってきたこの庭園も、将来は文化財として保護し、後世へ伝えて欲しいと述べておられた 現在、その旧別邸は、特に庭園部分においてかなり荒れた状態である

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			伊江氏のご遺志に応えるべく、この旧別邸を後世へ伝えるため、文化財として保護できないものか、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、病院事業管理者 関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	永 山 盛 廣 (自民・無所属 連合)	1 福祉行政について 2 環境行政について 3 都市交通行政について 4 教育行政について	(1) 福祉のまちづくりについて ① 福祉のまちづくり条例改正の主旨、目的は何か ② 主な改正点は、どのようなものか (2) 介護予防について 介護予防健診について、目的・対象者・時期・実施方法について説明していただきたい (1) 那覇市の地球温暖化対策は、どのようなことをしようとしているか (2) 資源循環型社会構築のために、どのような事業を推進していくか、具体的な説明を求める (1) 都市交通の利便性及び環境問題改善のためにも、路面電車の導入は有効かつ必要だと思うが、市長の見解を伺う (2) ノーマイカーデーの設定と実施強化について伺う (1) 平成19年度の全国学力調査の結果を受けて、教育委員会は、どのように取り組んでいるか。また今後の対策について伺う (2) 那覇市の特別支援教育を充実させるために、どのように取り組んでいるか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 「やる気・元気旗頭フェスタinなは」について伺う ① 旗頭フェスタにおける地域連携の実情を伺う ② 旗頭フェスタと学校における出番づくりとの関連はどうなっているか ③ 旗頭フェスタの取り組みは、生徒指導に有効だと考えるが、その成果を伺う (4) 那覇市の学校給食の安全性の確保について伺う (5) 新奥武山野球場の管理運営について ① 野球場本体及び屋内運動場は、野球以外にどのような活用方法を想定しているのか ② 管理運営については、指定管理者制度を導入すべきと思うがどうか ③ 「読売巨人軍」のキャンプ誘致について (ア) キャンプ誘致の経過について伺う (イ) キャンプ誘致の経済効果について伺う (ウ) 青少年への影響について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	金 城 徹 (自民・無所属 連合)	1 企画・財務 行政について	財政状況について 昨年５月に試算した中期財政見通しにおいて、仮に現状のままの財政運営を継続し、何らかの財政健全化策を講じなかった場合には、平成20年度から平成23年度までの４年間で約223億円、年平均で約56億円の収支不足になる見通しであるということが示された そのため、そのような構造的な収支不足を解消するために、緊急行財政改革運動に取り組み、11月には那覇市中期財政計画「平成19年度～平成23年度」を策定し、持続可能な財政運営を構築してきた これは、市長を先頭に、各部局長がリーダーシップを発揮しながら職員一丸となって、行財政改革に真摯に取り組んだ結果であり、行財政改革運動の取り組みを評価するものである (１) 平成13年度時点での那覇市の財政状況 (全体の借金等) (２) 現時点での那覇市の財政状況 (３) 今後の見通しはどうか (４) 施政方針に財政運営については、平成19年度の緊急財政改革により、改善に向けての手がかりを得ることができたと記されているが具体的に説明せよ (５) 施設整備基金の設置目的と今後の運用のあり方について説明せよ (６) 新都心234街区、旧市役所予定地の民間への売却に対して住民監査請求の提起がなされているようだが、その趣旨と市当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 建設管理行政について	市営住宅建替事業の基本方針について 本市の市営住宅約6,600戸のうち、約2,900戸が老朽化し、ひさしや天井等のコンクリートの剥離、落下事故などが発生し、議会からも安全性の問題を指摘されてきたところである。これらの問題を含め老朽建築物の耐震強度の問題、安全面も懸念される場所である 一方、当局の作成した那覇市営住宅建替事業スケジュールによれば、宇栄原団地の最終建て替えが平成36年となっているが、この建て替えまでの期間、居住する方々が、老朽化が年々進行する市営住宅において安心、安全な生活が続けられるのか憂慮される場所である 以下について伺う (1) 国、県の財政状況からして、さらに事業期間が変更になる可能性はないか (2) 事業期間短縮の方策について (3) 全体の管理戸数をどの程度にするのか (4) 福祉及びその他行政との連携をどのように検討しているのか (5) 民間活用をどのように検討してきたのか (6) これまで耐震調査、耐力度調査をどのように実施してきたか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 児童福祉行政について	乳幼児医療費の立替制度について 乳幼児医療費の立替制度については、那覇市議会において市民サービスの観点から、あるいは少子化対策及び若年勤労世帯応援の観点から、たびたび議論されてきた経緯があるが、当局の見解はそのたびごとに国保の調整交付金の減額の問題、事務手続きの経費及びコンピュータシステムの変更による経費増の問題点を挙げて実施が困難である旨の答弁を再三繰り返してきた しかしながら、平成19年12月26日付の日刊紙の報道によれば、「乳幼児医療費自動で返金・利便向上 窓口業務も減」という見出しが躍っている。これは、宜野湾市が県内で初の「自動償還払い方式」導入の快挙を報じたものである (1) 那覇市で実施困難とされた乳幼児医療費助成制度の「自動償還払い方式」が実施できたのか説明を求める (2) これまで関係部局、機関との調整はどのようなになされてきたのか (3) 今後、この問題にどのように取り組んでいくのか見解を伺う (4) 乳幼児医療費助成制度の義務教育終了までの制度拡充について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 春 吉 (自民・無所属 連合)	1 ガソリン税 の暫定税率に ついて 2 那覇市職員 団体のための 職員の行為の 制限の特例に 関する条例(な がら条例)につ いて	暫定税率が今年３月末に期限切れとなるため、 ４月以降の税率のあり方についてどうするのか。 今国会で激しい議論がなされている中で国家、国 民も息をひそめて真剣に情勢を見つめている昨今 である 特に本県において昭和47年の日本復帰後、道路 整備はほとんどを道路特定財源により計画的に進 められ今日に至っている ちなみに、本県の資料を見ると平成19年度の道 路整備費は、直轄国道、県道、市町村道あわせて 約1,050億円である。そのうち約940億円が道路特 定財源で賄っているとのことである もしも現在の暫定税率を廃止し、本則税率に戻 した場合、本県の道路整備費は1,000億の半分500 億円がなくなるとのことである したがって、暫定税率が廃止になれば本県、本 市においても税収への影響をはじめ、道路整備、 維持管理等々産業の振興にも大きなマイナス要因 となるだけに、本員は暫定税率の延長を願うもの である。市長の所見を伺う 今年１月17日のマスコミ報道によると本市職員 団体に対し、不適切な運用を認め不適切な給与を 支払っていたということが、総務省の調査で明ら かにされたが、これまでの経緯と内容、今後の対 応を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 マテリアルリサイクル施設(資源化推進センター)の建設について	資源循環型社会を促進するため環境省の交付金を活用して那覇市旧ごみ焼却施設解体と、その跡地を利用して資源化センターを建設するとのことであるが、次の点について当局に伺う (1) 事業内容、規模、事業費、事業スケジュールについて (2) 既設リサイクルプラザと新設する資源化センターとの位置づけについて (3) ダイオキシン対策について (4) 市民、町民に対する安全対策、事業説明会のスケジュールについて (5) 資源化センター完成後の管理運営について
		4 公園整備について	日常的に地域交流の場そして自然とのふれあいの場として市民生活に潤いとやすらぎを与え、本市の街を明るく活き活き元気にする源になるものであり、公園の整備は計画的に推進しなければならないと思慮する そこで、次の点について当局に伺う (1) 現在、事業実施している公園は何カ所あるか (2) 未着手公園の数と問題点、今後の対応について (3) 平成12年度の「緑の基本計画」によると、市民一人あたり標準公園面積10㎡以上を目標としているが、現状はどうか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 最終処分場の跡地について(多目的広場の整備計画)	施政方針の中で、旧最終処分場跡地を当面、市民、付近住民の健康の保持増進及び青少年の健全育成に資することを目的にサッカー場などに使用できる多目的広場として整備するとのことであるが、次の点について当局に伺う (1) 整備概要(予算額、施設規模)について (2) 供用開始予定について (3) 完成後の管理運営について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	翁 長 俊 英 (公 明 党)	1 市長 2 期目 最終年度にお ける総括につ いて 2 米兵による 少女拉致暴行 事件について	平成20年度の予算編成にあたって、公明党那覇市議団は去年11月に130項目の重点政策について、翁長市長に申し入れを行った 財政環境は極めて厳しい中で、財政の健全化に努め持続可能な行政運営を目指し、市民ニーズに応えるべく子ども施策や健康・環境・教育・安心安全な施設の整備など限られた財源の中でも特に重点的に予算配分されていることは率直に評価するものである 平成20年度は翁長市長就任 2 期目の最終年度である。市長就任 8 年目を迎え、これまで激変する嵐の中で、「風格ある県都那覇」の実現を目指して、ふりかかる難題に立ち向い乗り越えてきた ごみ問題をはじめに、とまりんの再建、港湾事務組合の設立、保育所や各種施設の民間委託、認可外保育園の支援、ISO9001の導入、塩漬け用地の解消、奥武山公園の移管整備、協働のまちづくりの施策、市立病院の独法化など着実に成果を出し、このことが評価され昨年11月には「地方自治60周年記念総務大臣表彰」を受賞している。まさに翁長市政になって役所内の空気は一変し、多くの市民から高い評価を受けているところである。 そこで伺う 市長就任 2 期目最終年度にあたって、これまでの行政運営における自身の総括と 3 期目に向けた決意を伺う 人権を蹂躪する少女暴行事件、その後も一向に改まらない米兵の事件に対し、激しい憤りを禁じ得ない。市長の見解と子供たちを守る立場から、教育長の取り組みを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 平成 20 年 度施政方針よ り	(1) 本土復帰後から整備してきた各種施設が老朽化し、相次いで建替時期を迎えつつある。この課題に対応するため、不動産売却等の臨時的収入を原資とする「那覇市施設整備基金」を創設すると述べている 具体的に想定される施設名を含めて説明を願う (2) 市民相談室の設置について 労働農水課所管の多重債務に関する相談をはじめ、消費生活全般に関する相談及び消費者の啓発などを市民協働推進課の相談業務に移し、市民相談室を新設し、各部署との連携をとりながら、相談体制の強化を図るとなっている。体制・連携方法などの内容について伺う
		4 核兵器廃絶 平和都市宣言 について	那覇市は市政の基本的理念として平和の希求を掲げ、核兵器廃絶を求める自治体・団体との連携を深め、世界中の核兵器廃絶を目指して活動していくとしている これまでの取り組みと今後について問う
		5 がん対策に ついて	(1) がん対策基本法の施行、市立病院の対応と取り組みについて問う (2) P E T 診療の取り組みについて問う
		6 財政問題に ついて	ガソリン税の廃止に伴う本市への影響について 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 施政方針について 2 国保行政について	(1) 「市民と協働のルールづくり」の背景及び考え方について伺う (2) 市民の健康づくりについて ① 昨年の健診受診率向上の取り組みと成果を伺う ② 地域の医療機関との連携における課題を伺う (3) 中心商店街の活性化促進について伺う ① 基金創設の目的と内容について ② 活性化支援プロジェクトチームの概要について ③ 市街地開発事業との整合性はどうか ④ トランジットモール事業の課題と展望について (4) 農連市場地区の事業化促進について、現況の課題を伺う (5) 認可外保育施設児童への給食費助成事業について、事業内容を伺う (1) 調整交付金の算定ミスによる国の対処方針について ① 全額補てんの方向性となったが、補てん額は確定したのか ② 補てん金の使途について、赤字埋め合わせでなく、市民の健康増進事業に使う方向で検討できないか (2) 国保財政の見通しについて

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 子育て支援について	(1) 乳幼児医療費無料化の拡充と給付方法の改善について ① 通院費無料化枠の拡充及び入院分を拡充する考えはないか ② 「自動償還方式」の導入に対する検討結果について ③ 「現物給付方式」に対する当局の見解について (2) 子供のインフルエンザ予防接種への公的助成について
		4 若者の自立支援について	12月定例会での代表質問において、ニート対策として効果の高い「地域若者サポートステーション」を本市へ設置するよう提案をしたが、その後の進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長